

令和2年12月

会 員 各 位

日本慢性期医療協会

会長 武久洋三

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う後方病院としてご協力のお願い

謹啓 平素より当会の活動にはご支援、ご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。

当会主催「第28回日本慢性期医療学会」(田中志子学会長)は、オンライン開催として12月2・3日に東京研修センターからライブ配信を行い、延べ5,000件を超えるアクセス数がありました。本学会のアーカイブ配信、一般演題については、学会特設サイトより引き続きアーカイブ配信12月23日、一般演題1月15日までご視聴いただくことができます。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学会会場に参集することが叶いませんでしたが、反面、多くの方々にご視聴いただき学会は盛会裏に収録することができました。会員各位のご協力に深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、連日、報道されているように新規陽性者数が全国で毎日2,000名を上回るようになり、感染拡大が顕著になってきております。陽性者の病床確保、入院調整などの医療体制の整備については、今後さらなる大きな困難が予測されております。

日本慢性期医療協会としては、慢性期医療を担う病院や施設の団体ですので、新型コロナウイルス感染症に罹患して、新型コロナウイルス感染症としては治癒し、PCR陰性となった患者さんを積極的に受け入れて、日常生活に戻してあげる責務があると考えています。そのことにより、医療が崩壊することのないよう協力したいと思っております。

新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしている患者をお引受けし、日常生活に戻ることができるようにできるだけ多くの会員病院の皆様に積極的な患者の受け入れへのご協力をお願いしたいと思います。

こういった後方病院としての感染症対応の体制整備に関する評価については、当会も一員である日本病院団体協議会より、第3次補正予算に関する要望として国に働きかけていく所存です。

この困難に、医療界が一体となって乗り切っていかなければなりません。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

謹白